

スポーツ推進委員だより

令和8年10月1日発行

令和8年度 NO.1

可児市スポーツ推進委員会 会長 横山 三幸

可児市スポーツ推進委員会
(事務局)
可児市文化スポーツ部文化スポーツ課
可児市広見1-1 ☎62-1111

市民の皆さま こんにちは
可児市は、「一市民、一スポーツ」を推奨しています。加齢や運動不足に伴い脚筋力が低下すると日常生活動作や歩行能力が衰え、転倒の危険性が高まります。運動習慣の定着を通じて健康寿命の延伸を図り、世代を超えた地域交流の促進、笑顔と親睦の輪を広げていただくことを願い、微力ではございますが、スポーツ推進委員31名のメンバー全員で力を合わせ精一杯活動してまいります。
楽しければ続けることができます。
私どもの組織では、各種軽スポーツの出前講座や道具のみの貸し出しを行っております。ぜひ健康づくりに活用してください。
よろしくお願いいたします。

可児市スポーツ推進委員会 紹介 「私たちはスポーツ推進委員です。」



私たちスポーツ推進委員は、市から委嘱を受け、市民の皆様にスポーツの楽しさを伝える活動をしています。各地区のスポーツ推進委員は以下の通りです。

地 区	氏 名	地 区	氏 名	地 区	氏 名	地 区	氏 名
今渡	柴田 和幸	帷子	井伊谷 雅明	桜ヶ丘	○藤田 睦子	春里	奥村 四郎
	樋口 浩子		石上 健一		山崎 耕三		曾根 隆
川合	林 里香		勝野 茂	久々利	奥村 英治	兼山	金子 完治
	安江 典子		角 眞一郎		加藤 雅彦		岸 進一郎
広見	安藤 恵司	下恵土	細江 孝徳	姫治	鈴木 昇二	平牧	◎横山 三幸
	小田 智久		三宅 青児		宮田 重雄		○小谷 隆夫
	金子 尚之		森川 貢二	土田	大羽 孝之		山内 宏一
	藤井 悟		渡邊 義信		渡辺 喜代志	◎会長○副会長全 31 名	

活動報告① 第73回東海四県スポーツ推進委員研究大会

令和8年2月13日～14日に下呂市交流会館において、東海四県の推進委員1,700名が集い、開会式に続き表彰式が行われ、樋口和子委員が可児市で表彰されました。講演では運動実施率を向上させる『MEKIMEKI体操～からだをうごかせ！ニッポン！』、ラジオ体操の歴史とアプリの紹介『ラジオ体操～ラジオ体操アプリと100年に向けた取組～』が行われ、各推進委員真剣に聞き入っていました。今年度は、岐阜県開催ということで、翌日の代表6団体・2分科会の研究発表があり、山崎耕三委員が、第二分科会の司会を務められ好評でした。また、横山副会長が県女性部会の一員として「脳トレ 筋トレ 笑ットレ」テーマに発表されました。



講演会参加風景



研究会司会 山崎委員



研究会司会 横山副会長

報告② 第9回可児市ワンバウンド・バレー大会

3月8日(日)、可児市B&G海洋センターおよび今渡地区センターにおいて、「第9回可児市ワンバウンド・バレー大会」を開催しました。今回は19チームの参加があり、エキスパート(上級者)、エンジョイ(初心者)の2ブロックに分け、エキスパート7チームによるリーグ戦、エンジョイは3組×4チームによる予選リーグおよび午後はその結果、順位ごとにブロックに分かれリーグ戦を行いました。アンケート結果から、88%のチームから「満足」という評価されましたが、主催者側として反省する点も多く、次回に反映したいと思います。より多くの市民の方の参加をお待ちしております。

【エキスパートの部】

順位	チーム名	勝敗
1	きゅいーん	5勝1敗
2	ひまわり	4勝2敗
3	LF1	4勝2敗
4	ユニポピ With B	3勝3敗
5	レバブルアップ	2勝4敗
6	フジーズ	2勝4敗
7	たけちゃんず	1勝5敗

2, 3位 5, 6位は得失点差による



【エンジョイの部】



順位	チーム名	順位	チーム名
1	CHEERS	7	明治安田 Mates
2	ちょんまげ	8	レインボー
3	モルゲンロート	9	平 牧
4	チーム309+	10	RF2
5	川合体育振興会	11	チェリーズ
6	チーム土田	12	アーベントロート



報告③ 加茂地区スポーツ推進委員連絡協議会 前期研修会

6月20日(土)に、加茂地区の各市町村のスポーツ推進委員を対象とする研修会が、川辺町中央公民館で開催されました。

実技では川辺町スポーツ推進委員会が主管となり、『モルック』と言うスポーツを行ないました。

モルックは、フィンランド発祥のゲームを元に老若男女が楽しめるものとして考えられたスポーツで、モルック(木の棒)を投げ、数字の書かれているスキttl(ピン)を倒して点数を競い合うスポーツです。

床などを傷つけるため、基本的にはアウトドアで行うものですが、今回は、木製のものに緩衝材を巻いた「室内用」が使用され、衝突音が殆ど無く静かなものでした。

可児市スポーツ推進委員会では、モルックを室内で行なえるように、ペットボトルを利用した用具を開発して、「ペルック」と命名。出前講座等で提供しています。

こちらは、派手な衝突音もあり、より楽しめるものとなっています。

